

全国的に燃料の高騰や電気料金の値上げの問題が指摘される中で、石川県でクリーニング業などを展開する松本日光舎（松本健夫社長）は、ボイラー燃料の削減策として、燃料添加剤「エコマックス」を提案している。適量のエコマックスを重油タンクに添加するだけで大幅な燃費の向上が図れるうえ、二酸化炭素（CO₂）の削減にもつながると、旅館・ホテルに採用を呼びかけている。

石油系燃料は従来、時間が経つと酸化して分子の結合レベルが大きくなり、燃焼効率が低下するとされる。エコマックスを添加すれば、燃料内の炭化水素の分子は細分化され、かつ、再結合を防ぐ効果がある。「表面積が増えた状態。いわゆる精製直後に近い状態にして燃えやすくする」と松本社長。原料は100%石油で機械の損傷もない。

エコマックスは、群馬県に本社を構えるピーニングが、自動車の燃費向上の用途に開発したものだ。ガソリンのほか

ボイラーの燃費が向上

エコマックス 添加剤入れるだけ



重油タンクに適量のエコマックスを添加するだけ

松本日光舎が全国販売 経費削減に効果

軽油や灯油、重油にも高い効果を発揮することから、ボイラーを使う旅館・ホテル、温泉施設などを対象に業務用商品として製品化した。燃費向上の効果は早稲田環境研究所で、排ガス削減の効果は信濃公害研究所による試験で実証済みという。旅館・ホテルでは約50軒の導入実績がある。



金沢市の松本日光舎本社

松本日光舎でも、自社工場
のボイラー燃料にエコマックス
重油を採用。通常4キロの使用量は76・2リットルで、前年同
の地下タンクへの給油時（月
約3〜4回）にエコマックス
2リットルを添加。添加を始めた昨
約3〜4回）にエコマックス
る結果になった。
さらに10月は前年の86・0

年から70・0リットルへと18・5%
もの大幅削減となり、ボイラ
ーでの燃費向上と燃料削減効
果を実証してみせた。3カ月
目の11月は6%の減少に留ま
り、削減率は低下したが、
「11月は前年よりかなり忙し
く、ボイラー稼働率が高か
ったことが要因」と松本社長
は分析している。

同社では、重油に年間約1
200万円の経費がかかって
いる。ことからエコマックス
のコストメリットを試算して
みた。年間約30万円の添加剤
経費を差し引いても、重油の

10%削減で116万円、15
%削減なら190万円、20
%削減では264万円のコスト
が削減できることになる。
「多業種の事例でも15〜20
%の削減実績があり、当社の
経過を見ても15%削減は十分
に見込める」と松本社長。達
成すれば、約200万円の利
益アップになる。設備投資も
なく、エネルギーコストを低
減させるメリットは大きい。

松本社長は「エネルギーコ
ストは今後さらに上昇する可
能性が高く、旅館・ホテルも
省エネ対策を進めないとコス
トアップは避けられない。エ
コマックスは当社で実際にテ
ストを行い、しかも既存設備
のまま効果が出ているので、
宿泊施設の皆さまにもき
っと喜んでもらえるはず」と
話している。

4月14日には、東京都内で
モニター説明会を開催する。
▽エコマックスの問い合わせ
は、全国販売を手がける松
本日光舎、石川県金沢市横川
7-2、☎076(241)
6155まで。

松本日光舎のボイラー



4月14日には、東京都内で
モニター説明会を開催する。
▽エコマックスの問い合わせ
は、全国販売を手がける松
本日光舎、石川県金沢市横川
7-2、☎076(241)
6155まで。